

# 平成 2 9 年度 那須塩原市議会「志絆の会」 行政視察報告書



視察地 : 埼玉県嵐山町

視察日 : 平成30年3月26日(月)

視察内容 : 国立女性教育会館の取り組みについて

【参加者 : 眞壁 俊郎    鈴木 伸彦    金子 哲也】

|                        |
|------------------------|
| ○視察日 平成30年3月26日（月）     |
| ○視察地 埼玉県嵐山町            |
| ○テーマ 国立女性教育会館の取り組みについて |

## 1. 国立女性教育会館の沿革と概要について

世界女性問題の歴史は、1975年国際婦人世界会議において「世界行動計画」が採択され、1976年から1985年までの「国連婦人の10年」の中で、1979年には「女子差別撤廃条約」その後、1985年には「国連婦人の10年」ナイロビ世界会議が開催され「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」が採択された。このような世界の沿革に合わせるように、1977年に、国立としては唯一の成人女性のための社会教育施設として国立婦人教育会館が設立された。2000年に「国立女性教育会館」と改称され、独立行政法人となった2001年以降は、女性教育に関するナショナルセンターとして、人材育成・研修の実施や女性教育に関する調査研究、広報・情報発信、国際貢献の4つの事業を連携させ、男女共同参画社会の実現を目指している。

## 2. 男女共同参画の現状と課題

日本の現状は、世界の中で、女性の社会参加、女性の地位向上において、非常に遅れおり、ここ数年間においても順位が落ちている。2017年のグローバルジェンダーギャップ指数は、144カ国中114位である。日本は、人間開発は進んでいても、社会での女性活躍が進んでいない。日本も地道に進めているが他国に比べ加速度が不足している。

## 3. 国立女性教育会館の事業について

平成28年度から第4期中期目標・中期計画期間に入った。女性活躍をより一層推進するため、地方自治体、企業や大学を始めとする教育機関等と連携・ネットワークをさらに充実させ、より多様な主体に対する積極的な広報・情報発信を行ない、社会に対してアプローチすることで、男女共同参画社会の実現を目指す。

### ○研修事業

#### （1）女性活躍推進のためのリーダーの育成

・地域における男女共同参画推進リーダー研修（女性関連施設・地方自治体・団体）、男女共同参画推進フォーラム（1000人規模）等

#### （2）次世代を担う女性人材の育成

・女子中学生夏の学校2017、女子大学生キャリア形成セミナー

#### （3）困難な状況に置かれている女性を支援するための人材の育成

・女性関連施設相談員研修

#### （4）教育分野における女性参画拡大に向けた取組

・大学等における男女共同参画推進セミナー

○調査研究事業

- (1) 男女共同参画統計に関する調査研究
- (2) 男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査研究
- (3) 女性教員の活躍に関する調査研究
- (4) eラーニングによる教育・学習支援に関する調査研究

○国際貢献事業

- (1) アジア地域における男女共同参画推進のための人材育成
  - ・アジア地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー
- (2) 国際的課題への対応
  - ・課題別研修他

○広報・情報発信事業

- (1) 女性活躍推進等に資する情報の一元化・発信
  - ・情報資料の収集・整理・提供等
- (2) 男女共同参画等に関する歴史的資料の収集・保存の推進
- (3) より多様な主体への積極的な広報活動の充実・強化

その他

DV問題、結婚と家庭の問題、職場に於ける格差、政策・方針決定過程への女性の参画格差問題等多くの問題について説明を頂き議論をすることが出来た。視察の最後に広い館内をくまなく案内を頂き、この会館が女性教育施設のためだけの施設にとどまらず広く研修やスポーツ、その他の合宿等にも開放し利用されていることがわかった。

以上

説明者

総務課専門官 島田悦子氏 事業課専門職員 佐伯加寿美氏 上田芳子氏

